

展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		保育・教育環境の充実

事業名称	事業内容(細事業)	19年度実績	
保育・教育内容や活動、施設の充実	保育内容の充実(保育所)	各種保育事業内容の継続 (平成18年度 同)	
	家庭支援推進保育事業の実施	2保育所に各1人担当保育士配置 (平成18年度 同)	
	保育所園庭の芝生化の検討	草内保育所で一部継続実施中。(平成18年度 同)	
	特色ある園づくり (幼稚園:体験活動等を生かした活動や幼児の特性や発達に応じた指導方法の工夫)	同志社大学のサッカー部、馬術部等との交流とともに、大学から講師を招いて親子での体を使った遊びを研修した。(平成18年度 同志社大学のサッカー部、馬術部等との交流等実施した。)	
	保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善		平成16年～17年の耐震調査の結果をふまえ、各学校の耐震化の工事を順次実施。平成19年度は大住中学校、田辺東小学校の休憩室、便所棟等から実施。(老朽化に伴う修繕)
		1 幼稚園 田辺、田辺東、薪、松井ヶ丘幼稚園の保育室改修、床張り替え、壁モルタル工事などの事業を行い、施設の維持管理及び教育環境の充実を図った。(老朽化に伴う修繕)	
(三山木保育所) 遊戯室壁改修工事・保育室壁改修工事・床下換気扇設置・床改修工事 (草内保育所) 遊戯室用物入れ床改修工事・砂場整備工事(老朽化に伴う修繕)			
意見発表等の機会の充実	「子どもの主張大会」の実施	( )は平成18年度 平成19年11月3日 子どもの主張大会 発表者 13人(13人)作文応募者715人(1,158人) 参加者 300人(150人)	

学力の充実・向上 と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善)( ) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助)	平成19年度には、三山木小、田辺東小及び松井ヶ丘小が新たに指定校となり、小学校9校全校が実践した。(平成18年度 田辺小、草内小) 同志社大学等の学生ボランティアによる学習支援を実施、登録者52人。総合的な学習の時間等で地域の人材を活用 小学校3～6年生児童1名500円、1学級5,000円を配分。中学校生徒1名500円、1学級10,000円を配分 (平成18年度 同)
	進路指導の充実 ・職場体験学習	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。(平成18年度 同)
社会の変化に対応する教育の推進	国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	英語指導助手を3名採用し、中学校において英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への協力などのほか月曜日から金曜日に中学校の巡回指導を行った。また、市立小学校、幼稚園において、英語活動等行うことにより、児童・園児との交流を図った。(平成18年度 中学校で英語授業の補助、小学校・幼稚園で英語活動実施)
	情報教育の充実 ( ) ・コンピュータ等の機器の充実	教員の活用が増えるとともに生徒への活用も広がりつつある。しかし、京田辺市では小学校ではコンピュータ教室を作っていないため、液晶プロジェクターを活用して授業をしようとする設置・設定が必要となり、コンピュータを使った授業のやる気はあるが、接続や技術の不安がある先生方も多く、活用の障害になっている。それを解決するためには、IT化された教室の設置で一般教科への対応がより可能になり、児童生徒の学力の向上につながる。また、小学校へのパソコン教室の設置よりも予算的にコストダウンになり、活用状況の幅も広がる。大型モニター65インチコンピュータ液晶タブレット・DVD・スピーカ等を3校に設置 各校2台のプロジェクタに加え、貸出用に10台を備え活用している。(平成18年度 同)
	情報教育の充実 ( ) ・コーディネータ・ネットワーク、ソフト管理配置事業 ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	教員のコンピュータ活用も広がり、授業のプリント作成やデータサーバを活用した補修学級プリント・休業中のワークブック等の作成に活用されている。情報関係の授業だけでなく一般の授業でのコンピュータ活用事例も増えてきている。・情報教育コーディネーター派遣 情報モラルとセキュリティ、情報機器の活用に関する講座の開催 (平成18年度 同)

生きる力

文部科学省の中央教育審議会では、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力、自らを律しつつ、他人と協調し他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力をさしている。